



編集後記

2006年のベストセラーに『国家の品格』（藤原正彦著／新潮新書）がある。それ以降『品格』は流行語となり、『女性の品格』やら『国家の品格』やら、挙句は書籍ではないが『ハケンの品格』というのまで登場した。

この「品格本」ブームによって、国家としての日本および日本国民の「品格」が高まったのならそれは喜ばしいことなのだが、残念ながらそれ以降の日本を見る限り『国家の品格』にあるような我が国の「情緒と形の文明」という「国柄」は復興して

いるように思えない。それどころか、テレビでは低俗な興味本位のプログラムが横行し、コマーシャルに至ってはもはや子供に聞かせたくないような猥雑な日本語が飛び交ってはいないだろうか。

品格の反対語として考えられる言葉として「ぞんざい」を挙げれば、そのような「ぞんざい」な言葉が、その言葉を発する人間の人間性も表すと考えると、公共性の高いテレビ

という媒体でそうした言葉が平然と使われていることには大きな危惧を感じるのには筆者だけであろうか。

曰く「なんで情報が漏れたかなんてわかんねえよ」であったり「大切な情報だったらもつとちゃんと管理しろつーの」であったり、という台詞を発する俳優ご自身が「ぞんざい」というつもりはないが、それこそコマーシャルを送り出す側の『企業の品格』に関わる問題なのではないだろうか。

「ぞんざい」を調べるとその意味は、
①いいかげんに物事をするさま。投げやり。粗略。②言動が乱暴で礼を失っているさま。不作法。

とある。類語には「いい加減」「適当」「生半可」「投げ遣り」などがあり、関連語としては「でたらめ」「ちゃらんぼらん」「行きあたりばったり」「無責任」などが挙げられている。いずれにしても品格を欠いた粗野な振る舞いであることは間違いない。

東京オリンピックの開会式の折、臨席された大会名誉総裁の天皇陛下は背筋を伸ばし、背凭れに背中をあずけることなくおよそ3時間30分に渡る式典に立ち会われたという。

同席した首相と都知事がどうであったかはご存知のとおりである。

たまさか、『国家の品格』の著者と、コマーシャル中の「なんで情報が漏れたかなんてわかんねえよ」、「大切な情報だったらもつとちゃんと管理しろつーの」という言葉を発した男優の姓が同じであったのは何かの縁かも知れない。この機会に日本という国の未来に対する「品格」の在り方を考えてみるのも良いのではないだろうか。

そして『国家の品格』にあった我が国の「情緒と形の文明」という「国柄」は、日本は戦後75年以上をかけたどのような変遷を遂げたのであると、日本の来し方来る方を考えると、日本語のみならずこれからの教育について、真剣に考えなければならぬ時なのではないだろうか。

（溪）

月刊 公論

10月号 第54巻10号

令和3年10月1日発行 毎月20日発売
本体価格1,100円(税込) 送料87円

発行人 大中 吉一 編集人 林 溪清
発行所 株式会社財界通信社
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町10-12 ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611(代) FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 日本出版販売／楽天ブックスネットワーク

- 直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
- 万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。